学習情報紙９月号

東部いれこみ情報

NO.２７５　２０２４年（令和６年）９月１日

発行　東部地域振興課

住所　〒７２１－０９１５　福山市伊勢丘６－６－１

電話　０８４－９４０－２５７４　　FAX ０８４－９４７－５６５８

1. 遊歩一景
福島ひまわり里親プロジェクト今年も順調に花を咲かせました
	1. 内容
	東日本大震災で被災した福島県の復興支援の輪を多くの人に繋げたい…との思いで始まった、東朋中学校の「福島ひまわり里親プロジェクト」のひまわりは、今年度も順調に成長し花をつけました。
	　5月15日に、同校のTOHO LEADERSの生徒が、東部市民センターで植えたひまわりは、5月20日には芽を出し始め、7月第2週には、最初の一輪が咲き、以降次々と花を咲かせました。中には背丈が170㎝近くあるものや、直径20㎝を超える大輪もありました。
	　日中の暑い時間には蜜蜂も寄ってきて秋には多くの種が採取できそうです。また、東部にある多くの交流館でも花壇や敷地に福島のひまわりを植えており、こちらも順調に成長し大きな花をつけました。
	　来年も採取した種を植えていき、東朋中学校の皆さんと、福島の思いを継げていきたいと思います。
2. Toutube/トーチューブ
手城川　～川のせせらぎ　夏から秋へ～
	1. 内容
	　東部地域振興課では、生涯学習の成果を発表する機会などの一つとしてYouTubeのチャンネルを開設しています。
	　今回は、癒し（リラックス）の効果やストレス防止につながる効果があると言われている「川の流れる音」を収録し、手城川のせせらぎを配信します。
	どうぞ、ご覧ください。
	2. 配信　９月１４日（土）9:00～
	3. 詳細
		1. 動画サイト　YouTube
		2. チャンネル　TouTube.F
		3. 問い合せ先 東部地域振興課
			1. 電話：084-940-2574
			2. FAX：084-947-5658
			3. メール：toubu₋chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp
3. 桜坂ギャラリー企画展
	1. テーマ　「浸水対策」～災害に強いまちづくり～
	2. 内容
	　９月１日は「防災の日」です。自分や大切な人の命を守るためにも、一人ひとりが災害時の備えをしておくことが大切です。
	　地域や家庭でできる浸水対策について考えてみてはいかがでしょうか。
	3. 期間　９月７日（土曜日）から９月３０日（月曜日）
	4. 場所　東部市民センター２階　ロビー
	5. 主催・問い合せ先　東部地域振興課
		1. 電話 ０８４－９４０－２５７４
		2. FAX ０８４－９４７－５６５８
4. 地域をつなぐまちづくり紹介
各地で夏祭りや盆踊り大会を開催
	1. 内容
	　８月の第1週末頃を中心に、多くの学区で夏祭りや盆踊り大会が開催されました。コロナウイルス感染症が第5類になってから2回目の夏、どこも盛大な催しとなりました。
	　大谷台学区では、やぐらを囲んで盆踊りが舞われました。また、地域のコーラスサークルや和太鼓のチームが日頃の練習の成果を発表しました。昨年度からキッチンカーによる出店を依頼するようになり、焼きそばなどのブースに長い行列ができました。
	　野々浜学区では、やぐらを囲んだ会場で盆踊りと各団体による模擬店の出店など、いわゆるコロナ禍前のスタイルが復活しました。また、踊りの合間には、打ち上げ花火やステージ発表の時間が設けられ、バトントワリングや和太鼓の演奏がありました。会場は、約1000人が浴衣や甚平姿などで訪れ、夏の風物詩を楽しみました。
	　長浜学区では、普段から親交のあるサッカークラブ「福山シティーFC」の選手を招き、祭りの催しとして交流会を開催しました。
5. 文化祭用のデジタルゲームを作成　野々浜学区
	1. 内容
	　今年の野々浜学区の文化祭では、地域の子ども達がプログラミングツール「Scratch」で作ったゲームやクイズに、スマホで参加する企画を実施予定です。使用するプログラムは、昨年春日学区で実施した「デジタル版ウォークラリー」をベースにしており、野々浜ならではの情報をクイズや写真などで紹介できるよう工夫しています。
	　また、子ども達が考えたオリジナルのキャラクターなどもたくさん登場します。子ども達の中には、初めてScratchでプログラムを作るという子もおり、難しいと感じながらも真剣に取り組んでいました。この体験を通じて、プログラミングの楽しさと自分のアイデアが形になる喜びを少しでも感じてもらえればと思います。
	　１０月２７日（日）の文化祭当日は、ぜひ会場の野々浜小学校でデジタルゲームに参加してみてください。
6. 東部管内イベント・講座情報
	1. 春日コミュニティ館からのお知らせ
		1. 春日コミュニティ館まつり2024を開催します
			1. テーマ　文化の違いを認め合う地域に！ ～出会い・気づき・ふれあい・交流しよう～
			2. 日時　９月２１日（土曜日）9時30分から12時30分
			3. 場所　春日コミュニティ館
			4. メインゲスト
			たそがれどんべい
			　メンバーの還暦をきっかけに結成され今年で20年になります。当初は3人でしたが数年前メンバーの一人が離脱、その後二人のサポートメンバーが加わり現在は4人で活動されています。各地の交流館などで人権平和学習会のトーク＆ライブをはじめ古民家レストランやライブハウスで活動中のフォークバンドです。
			5. 内容
				1. 春日コミュ利用サークルの
				2. ステージ発表
				3. 飲食物の販売
				4. 作品などの展示　など
			6. 駐車場　緑丘小学校へとめてください。
			7. 自転車は春日コミュニティ館の駐輪場へとめてください。
			8. 主催　春日コミュニティ館まつり実行委員会
			9. 問い合せ先　春日コミュニティ館
				1. 住所　福山市春日町五丁目５番２２号
				2. 電話　０８４－９４３－２５３１
	2. 東部図書館からのお知らせ
		1. 展示「ヘルシー！うれしー！元気ごはん」を開催します
			1. 期間　９月１８日（水曜日）から１０月１４日（月曜日）
			2. 会場　東部図書館　1階フロア
			3. 内容　「第２１回ヘルシーメニューコンテスト」の投票と食に関するパネル展示
				1. 期間中、展示内容の入替あり
		2. サロンコンサートを開催します
			1. 日時　９月２４日（火曜日）１４時から１４時３０分
			2. 会場　東部市民センター　1階サロン
			3. 内容　ハーモニカの演奏
			4. 出演　杉本肇とイーストハーモニカサークル
		3. あかちゃんといっしょのおはなし会を開催します
			1. 日程　９月１３日（金曜日）と２０日（金曜日）
			2. 時間　１１時から１１時２０分
			3. 会場　東部図書館　2階集会室
			4. 内容　０から３歳を対象とした絵本の読み聞かせ、手あそびなど
		4. 問い合わせ先　いずれも東部図書館
			1. 電話　084－940－2575
7. 特集「アンコンシャス・バイアスについて考える」その６
「よかれ」のつもりが慈悲的差別に
	1. 内容
	　慈悲的差別とは、「弱者」と感じた人に対し本人に確認せず不要な配慮をすることを指します。「よかれ」と思った気遣いが、実は「ありがた迷惑」になることがあるのです。
	　ある集いでスポーツ交流を計画した時、参加者に障がいがある人がいました。競技参加は難しく思案していた所、本人から「コートサイドでのお喋りが楽しい」と言われ、ホッとしました。先走って別メニューでも準備していたら、かえって恐縮されたかもしれず、早めに本人の気持ちが聞けてよかったです。
	2. 大切にしたいキーワード
	　30年以上も前の講演会の話。「信号待ちの交差点や階段の前に障がいがある人が立っていたらどうしますか？」と問われ、「通り過ぎる？」「手助けする？」…。導びかれたキーワードは「ひと声かける」「そっと見守る」でした。障がいがある人の社会参加がまだ少なかった頃の話。「歩める道は自分で歩み…」を前提に社会の支えについて考え合いました。
	　現代、外国人市民が増え高齢者も労働力。心身に抱える物が多いと言われる社会。日々の困りごとは何かしらあるでしょう。「無慈悲な世の中」であってはならないと思います。それゆえ、大切にしたいキーワードは「ひと声かける」「そっと見守る」ではないでしょうか。
	3. アンコンシャス・バイアスは、私たちの社会に存在し誰かの生き辛さにつながることがあります。誰もが幸せに暮らせる世の中であるために、考え合う機会となるよう今年度の記事として特集します。
8. 芦田川見る視る館で子ども教室を開催
	* 1. 内容
		　７月２７日に芦田川に架かる大渡橋の近くにある、芦田川視る見る館（御幸町）で、「夏休み直前 ‼ 子ども教室」として絶滅危惧種のスイゲンゼニタナゴについて、講師の古本さんから色々な話を聞きました。
		　元々少ないスイゲンゼニタナゴが減っている理由の一つに、農作業に必要な機械の経費がかなりかかることで農業を継ぐ人が少ないことや、高齢化に伴い農業をやめる人が増えてきたことにより、田植えをしなくなったことや、水路がコンクリート化されたため、魚の産卵場所や住みかが減ってきているとの説明がありました。
		　参加者は、小学生だけでなく大学生や大人の参加も沢山ありました。また、見る視る館に初めて来た人は、芦田川流域に生息している色々な魚の展示を興味深そうに見学されていました。
9. コラム　桜のささやき
　８月８日に宮崎県で震度６弱の揺れを観測した地震で、気象庁は南海トラフ地震の想定震源域では大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて高まっているとして「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を出し、巨大地震への注意を呼びかけました。
　この「南海トラフ地震臨時情報」を初めて聞いたという方も多いのではないでしょうか。福山市でもこの発表を受け、地震の発生に備えて、緊急避難場所や避難経路、家族との連絡手段を決めておくとともに、非常時持ち出し品を準備しておくなど、日ごろからの備えを再確認するよう呼びかけました。
　地震があった翌日、近所のスーパーへ行くとペットボトルの水と無洗米が売り切れており、災害に対する備えへの関心がより高まっているように感じました。
　福山市では、南海トラフ地震が発生した場合、最大震度６強の揺れとなり、建物の全半壊約６万８千棟、死傷者は約１万２千人と甚大な被害が予測されています。
　地震に限らず、これからは台風が多い時期にもなります。もしもの災害に備え、いついかなる時に災害が発生しても、私たち自身ができる防災を心がけ、備えておくことが大切です。

視覚障がい等の理由がある人のために，営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。
以上